



邪教徒のデカちゃんに  
完全敗北したシスターは  
どスケベ発情媚び媚び  
セックスで改宗する。



好きだ!  
シスター愛してる!

シスター!  
シスター!  
シスター!


ミコ  
ミコ  
ミコ



ははあ  
あ……


トク……

僕は今目も叶わぬ恋に身を焦がし、  
相も変わらぬ脳内で絶対にある  
シチュエーションを妄想して、一人寂しく  
自慰行為にふけていた。



これは絶対に本人には言えないことなのだが、  
僕が足繁く教会に通うのは、あのたわわに  
実ったおっぱいが僕のムスコを誘惑してくるから  
なのだ。

あのおっぱいに包まれたなら、僕は間違いなく  
禁断の果実に手を出したアダムとなるだろう。




おっぱいもいいんだが、あの腰つき！  
本当にたまらない！  
完全に僕を誘っている！

おっぱい

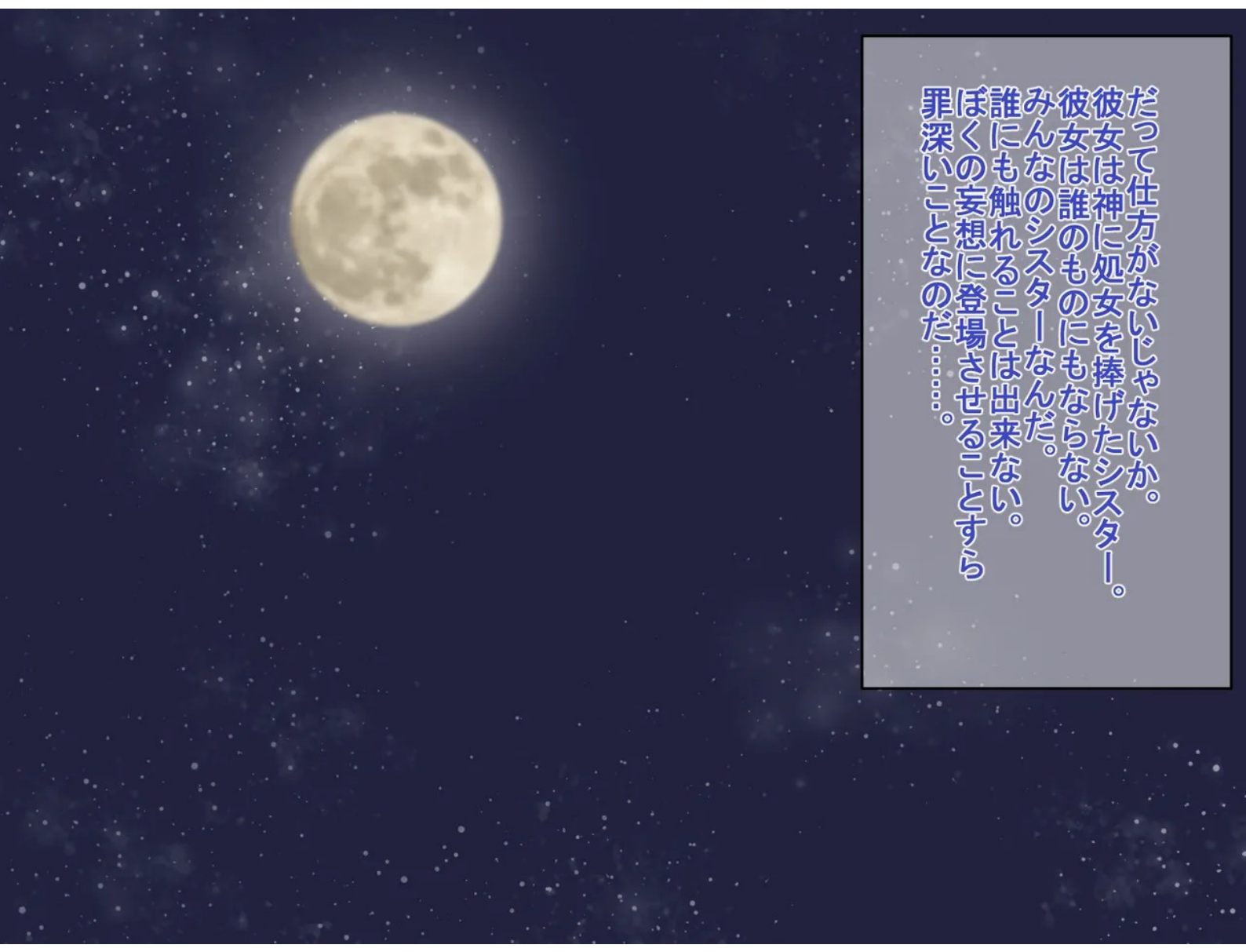
まさに蛇だ！  
僕を誘惑し騙し食らう蛇め！  
禁断の行為に及ばすために  
口をぱっくりと開け、  
僕のムスコをを誘っている！



たまらない……。  
正直いつ襲ってしまうか、気が気でない……。



だけど、  
アダムになり切れない草食動物の僕には、  
告白する勇氣も、いつそ襲ってしまおう気概も  
ないので、ことうして妄想の中でシスターを  
自慰のネタにするしかないのだ……



だつて仕方がないじゃないか。  
彼女は神に処女を捧げたシスター。  
彼女は誰のものにもならない。  
みんなのシスターなんだ。  
誰にも触れることは出来ない。  
ほくの妄想に登場させることすら  
罪深いことなのだ……。

そんな罪深い僕も、  
教会にだけはあしげく  
通っていた。

もちろんシスターと  
お話するためとかそんな  
不純な気持ちなどでは断じてない。  
断じてないのだ。  
大事なことなので二回言った。

今日も来てくださった  
のですね！  
うれしいです！

いえいえ！  
毎日神様にお祈り  
するのは僕の日課  
みたいなものなんで！

今日もなにか  
悪いことでもし  
ちやいましたか？

毎日僕が悪さしてる  
みたいと言わないで  
くださいよ！  
そんなんじゃない  
ですって。  
本当に、ただお祈りに  
来ているだけですよ。



本当ですか？  
それとも……  
なにか別の目的が  
あるとか！  
ですか？


うふふふふ  
冗談です♪  
♥

まままままざかー!!

いや惚れてまうやん!  
こんな甘々な会話したら  
誰だって惚れてまうやん!

これを天然でやっていて、  
さらにとびきり美人だと  
いうのだから、童貞の僕  
からしたら、引っかかるな  
という方が、土台無理な話  
である。





そんなある日、  
街では忌み嫌われる  
邪教の神官が目撃  
されたという噂で  
もちきりだった。

その噂はもちろん  
僕の耳にも入ってきていた。

嫌な予感がした

初めまして!  
お祈りですか?

初めまして  
私は邪神の勤勉な  
信徒にして邪神官  
この地の神に仕える  
ものを探しております  
あなた、そのオーラは……

……!!!  
邪教の方がこの  
地になんの用で  
しょうか?  
この地にはなにも  
ありません——

いえね?  
私はちようど  
あなたみたいなの  
人間を探していた  
のですよ!!!

催淫癸動






フハハハ!  
さあ!  
私のもに  
なりなさい!!!

し...神官さま??  
♥


か  
あ♥  
あ  
あ♥



ではまず私の  
これを気持ちよく  
していただきましょうか

お任せください♥

ポロ!



その見た目からは  
想像もつかない啞えっ  
ぷりですね！

は  
お  
お  
お

んふ♡んっ♡ふあ……へ？  
ふあふあひふあ……

おや？  
催淫の効きが  
悪いですね？

くっくっくっ  
くっくっくっ  
くっくっ





ぐぐぐ.....

ふん!!

閃電

んぶん♥ん♥ん♥

んぶん♥ん♥ん♥

んぶん♥ん♥ん♥

こんな田舎の  
シスターごときが  
私の催淫術から  
逃れるなどありえない  
話なのですよ！



さあ！  
ではまず穢れなき  
その顔に私の愛を  
与えましょう！

お茶もも...♡

ください♡




一滴残さず  
飲み干すのですよ

い相♡

指ッ..





それにしても聖母のような  
あなたの淫靡な姿を  
信者の方々が目にしたら  
どんな反応をするのですかね

ぷはあ♥  
はあ…♥はあ…  
あ、あれ…?

なんとという理性  
私の催眠術に抵抗するとは  
しかし、この術はいわば毒  
快楽に溺れれば溺れるほど  
体中に毒は回り、やがて墮ちる

し…神官…さま…ま…？

フハハハ！  
そろそろ本格的に  
回ってきましたか



お次は私のものを  
そのきれいな手で  
奉仕していただき  
ましようかね

はい  
❤


ムキムキ



気持ちいいですか? ♥

おお  
その調子ですよ

キュン  
キュン  
キュン



それにしてもこのテクニク  
一朝一夕で会得したとは  
考え辛いですね

かといってシスター  
という職業上性に  
乱れることなど  
あり得るはずもない  
のですが

くっ………!!  
この手袋のすべすべした  
感触がたまりませんわっ

いっ  
いっ  
いっ

いっ  
いっ  
いっ

じわー  
じわー





この溝のあたりなど  
いかかですか？♥

くっっ!!  
なかなか良い  
ではないですか

はあ♥はあ  
神官様あ♥

だんだんと激しくっ……!!  
この私が処女ごときの  
手コキでイカされそうに  
なるとはっ!!

フワ  
フワ  
フワ  
フワ



<math>N</math>...!

NSK

はあ…はあ…はあ…

いっぱい出ましたね♥

ついさきほどまで  
聖職者だったとは  
到底思えませんがね

普段、いったいどれだけの  
欲望を理性でしぼりつけて  
いたらこんな獣に変貌する  
のでしょうか  
強すぎる理性はそのせいだった  
のですね  
これは思わぬ収穫になるかもしれませ

ぽた  
ぽた

次はこちらで  
ご奉仕させて  
ください♥

ほう

たろんる

たろんる

なんとという大きさ  
さしずめ禁断の果実  
といったところでしょうか

ではおねがい  
しましょうか

お任せください♥  
神官様を必ず快樂の  
園までお連れいたし  
ます♥



「ううすると……♡

はうっ……  
私のものがあなたの  
胸で押しつぶされて……!

神官様のおちんちん私の  
お胸の中でびくびくして  
かわいいです♡  
もつと『ぎゅー』として  
あげたくなっちゃいますね♡

あふりふり……  
あふりふり……

どろ♡

どろ♡





誘惑なんて……  
この胸は神官様の  
おちんちんにご  
奉仕するために  
あるのです♥

フハハハ！いい眺めですね！  
今までいったいどれだけの  
信者をそのいやらしく  
実った胸で誘惑してきた  
のやら

ゴ  
ッ  
サ

ゴ  
ッ  
サ

うっ!  
少し待ちなさい!

ダメです♥  
神官様あ♥  
我慢はお体に毒ですよ?♥

たば

たば



神官様のあつつい精液私に  
くださいっ♡  
私のだらしないこのおつきな  
おっぱいにくさあーい♡

だだだ  
だだだ  
だだだ  
♡♡♡

やめー

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽん

ぽん



来てっ♥

くっ...  
出っ...  
出っ...  
出っ...

ぽんぽんぽんぽん





ぐあ……!!  
搾り取られる……!!



トク……♡♡

いっぱい出ましたね♥

ははー  
ははー  
まるで赤子を褒める  
みたいに言いますね……  
このわたしに向かって……!

うん

お  
お

喜んで♥

フハハ!  
ではその机に手を付け  
尻をこちらに向けなさい!

神官様のお望みならば  
シスターはなんでも  
致します♥

いいでしょう!!  
こちらに来なさい!

あ…あれ？  
私…何を…

おや？  
まだ抵抗する理性が  
残っていましたか

や、やめてください！  
こんなこと…ダメ…！！


ちようどいいです  
私のこのイチモツを  
もってあなたを完全に  
墮として差し上げましょう！



入れますよ

んいっ...  
いっ...  
いっ...

あず...  
あず...  
あず...



嫌がる神のしもべを  
無理やり犯すのも  
なかなかそそりますね！

やっ♥やめてください♥  
動かないでっ♥

一ついいことを教えて  
差し上げましょう  
どうやらあなたは  
とんでもなく強い理性を  
持っているようです  
この快樂に耐えることが出来れば  
まず墮ちることはいないでしょう

お、墮ちる…？

墮天使となり  
邪神様に忠誠を  
誓う信徒となることです

はあ—♡

はあ—♡

ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ

はあ  
はあ

はあ  
はあ

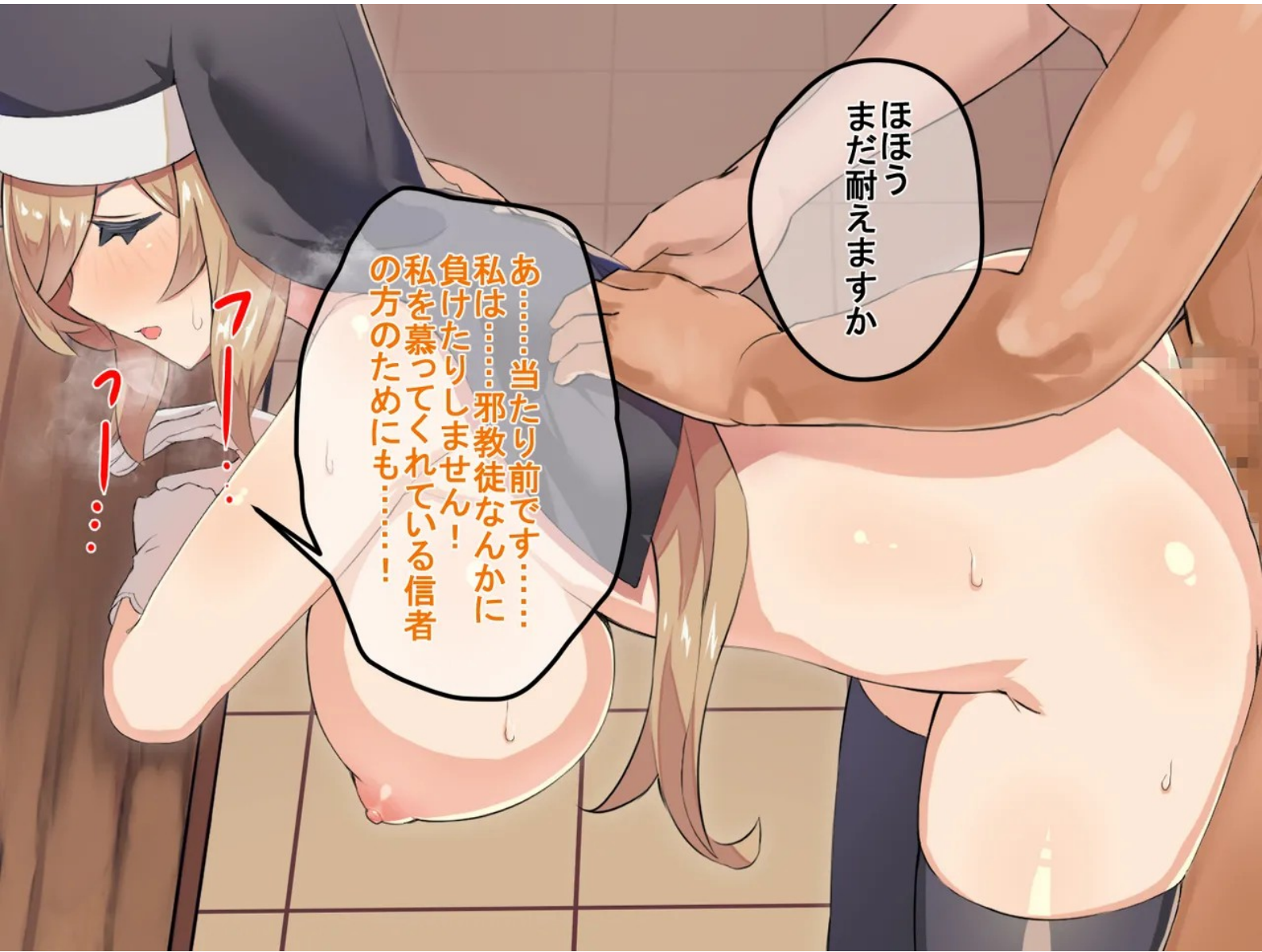


ま 負けません!  
私は...しすたあ♥

フハハ!  
シスターならば  
出してはいけない  
声が出ていますよ?



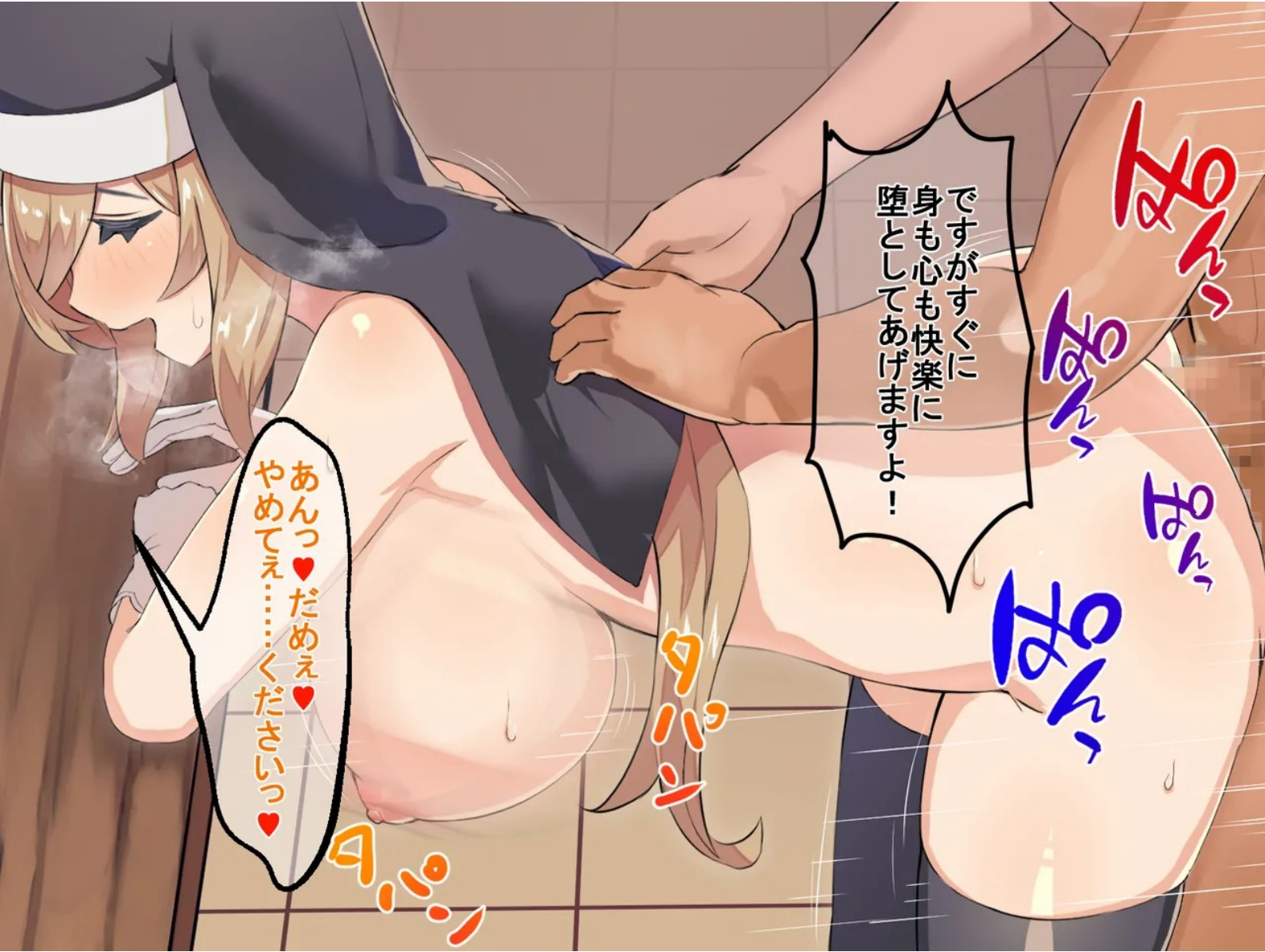
そんなに睨まれると  
ますます本腰を入れて  
墮としくなりませうね！



ほほう  
まだ耐えますか

あ……当たり前です……  
私は……邪教徒なんか  
負けたりしません!!  
私を慕ってくれている信者  
の方のためにも……!!

?!  
?!  
……



あんっ♥だめえ♥  
やめてえ.....くださいっ♥

ですがすぐに  
身も心も快樂に  
墮としてあげますよ!

アハハハ

おん

おん

おん

おん



ほらほらほら!!  
少しでも気を抜けば  
落ちてしまいますよ!

くっ

アッ

アッ

アハハ

アハハ

アッ

アッ

アハハ


アハハ

アハハ

ここまで私の  
責めに抵抗する  
とは

はあ……♥はあ……♥  
わたしは……わたしは……





ですが私の攻めは  
あなたが私のペニスに  
絶対服従するまで  
終わりませんよ！  
あきらめて私のもの  
になりなさい！

例えこの身が穢されようとも  
心だけは決して穢されません！  
なぜなら私は……シスター  
なのですから！

いいでしょう  
ますます興が  
のりました

息も絶え絶えでは  
ないですか  
あなたにはここで  
完全に堕ちていただき  
ます！

はあ……  
はあ……

はうっ……♡  
太くて熱いものが  
私の中につ……♡

フハハ！なんと極上の  
締め付け！  
聖女の膣はここで  
なければ！

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ほらほらほら!!  
気持ちいいでしょう!!

あっ♥あっ♥んっ♥  
こんなのっ.....♥  
気持ちよっくっ.....  
ありませんっ!!

メスの声がつ.....  
漏れていますよ!!

ほん

ほん

ほん

おや？奥を突いた  
途端反応が変わり  
ましたね

奥ぐりぐりっ……っ  
だめえ♥♥

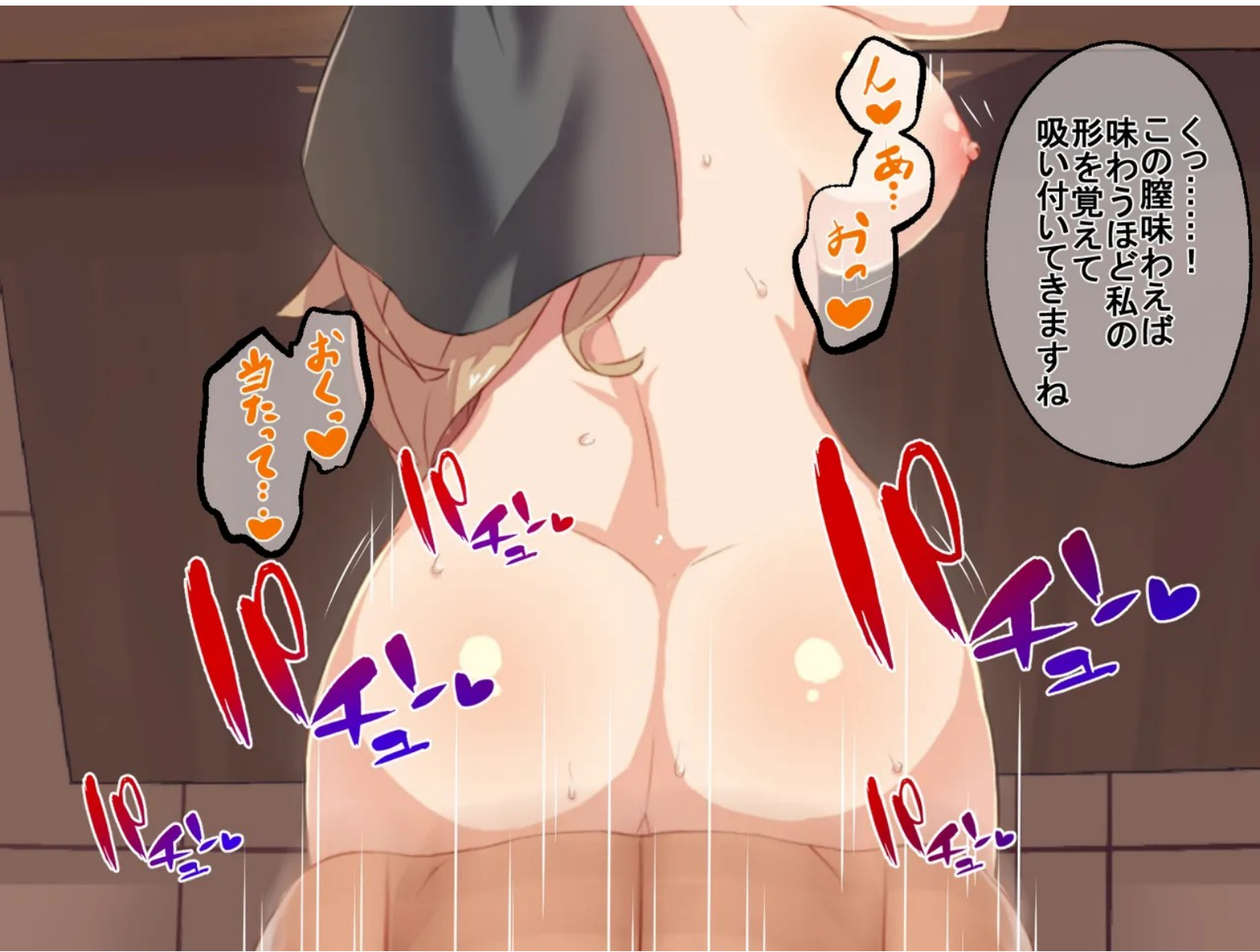
ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ





くっ……!!  
この膣味わえば  
味わうほど私の  
形を覚えて  
吸い付いてきますね

んあ...  
おっ♡

おん♡  
当たって...♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡



そろそろ出しますよ！

中はっ………♡だめー♡♡

ふ♡

ふ♡

110  
110

110  
110

110  
110

110  
110




ふう……  
腰が持つて  
いかれそうに  
なりましたよ

引き抜こうと  
すると惜しむ  
ように吸い付いて  
来ますね……

ふっ  
ふっ  
ふっ……

はっ  
んっ  
んっ

はっ  
んっ



フハハハ！  
そのような惚けた  
顔になっいては  
墮ちるのは時間の  
問題のようですね

ふー♥ふー♥  
…そんなわけ…!!!



フハハハ!  
さあ堕天の時です!  
私の精を受け堕ちなさい!

あ……れ……?  
神官……様……あ?❤



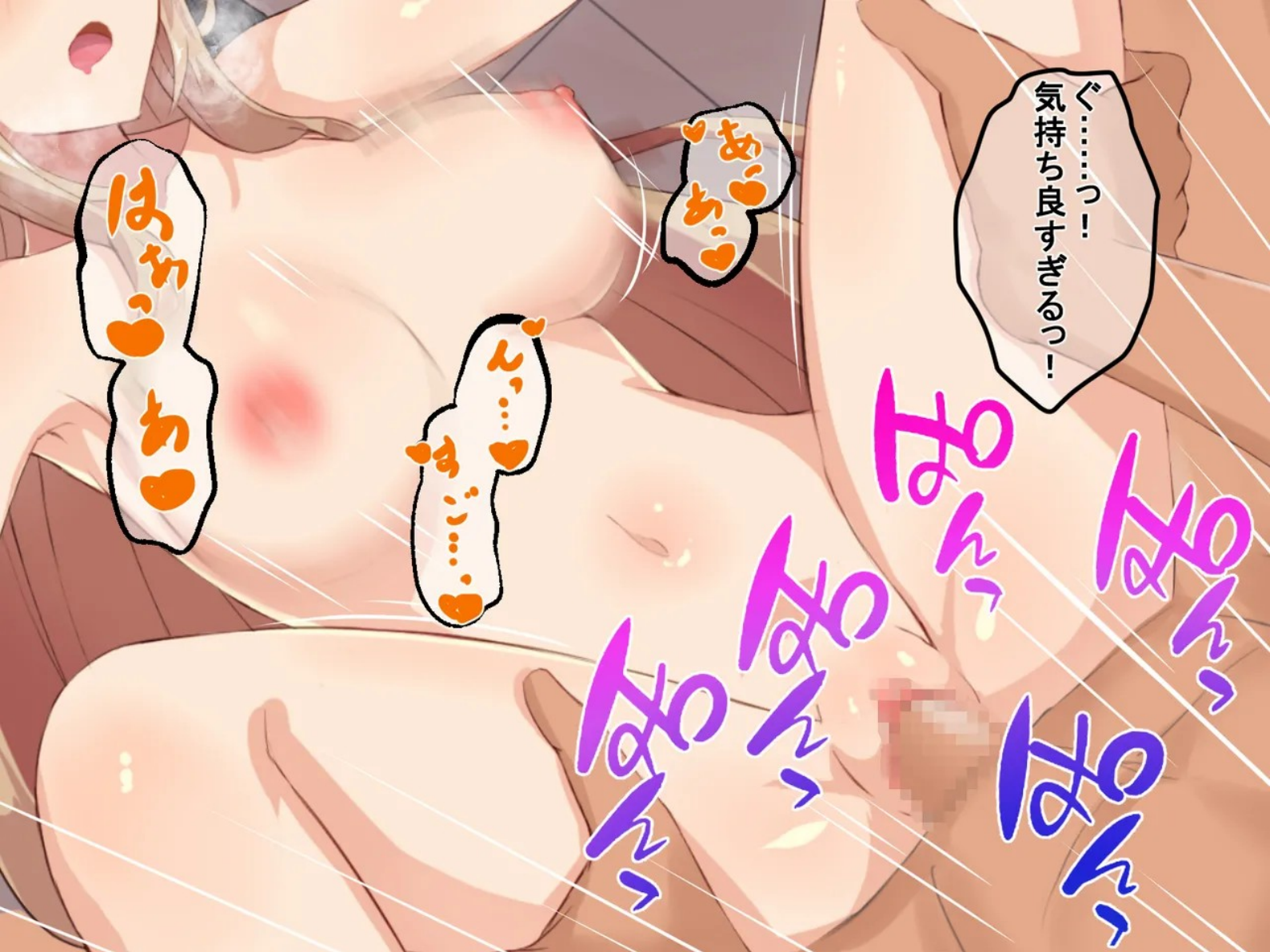
あ...  
だ...  
だ...  
だ...

記憶が混濁して  
きましたね  
その強固な理性が  
崩壊しかかっている  
兆候ですよ

それにしても  
この膣私のものに  
合わせて肉ひだや  
構造が作り替わって  
いますね

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ





はぁぁぁ

あぁぁ

ん...ん...ん...

ぐ.....っ!!  
気持ち良すぎるっ!!

ほんっ  
ほんっ  
ほんっ  
ほんっ

さあー！さあー！さあー！  
そろそろ出しますよっ！

その穢れなき子宮に  
私の精をたつぷりと  
出しますよ！  
そして墮天しなさい！

ほんっ  
ほんっ  
ほんっ  
ほんっ  
ほんっ

ふっ  
ふっ  
ふっ



ふー♥ふー♥  
わたしは…負けません！

まさか…  
私の精を受けながら  
心だけは堕ちなかった  
みたいですね

あ……当たり前です…  
私は……迷いや悩みを  
抱える子羊さん達のためにも  
あなたなどに屈するわけには  
いかな



シスター!!!  
大丈夫ですか!!!



ありえない光景が  
目の前に広がっていた……




し、シスター……？



違うのです!!  
これは……!!



し、シスター……これは……  
それにその男は悪魔神官



ちようどいいい！  
その迷える羊に  
シスターの本性を  
見てもらおうじゃあ  
ないですか！

やめてください！



やめるわけが  
ないでしょう！

さあ！  
私のペニスを自ら  
その膣に収めなさい

ん

ん



フハハハ!  
信者の目の前で  
犯される気分は  
どうですか?

ん?  
.....  
ん

ず  
っ  
ぶ  
っ  
っ  
っ



御覧なさい！  
シスターのこの蕩けた顔を！  
口では拒むもののまさにこれが  
彼女の本性なのですよ！

そんな……

ほんっ  
ほんっ  
ほんっ  
ほんっ

だ、大丈夫ですっ…  
これはっ、神が私に  
お与えになった試練っ

シスターー!!



試練ですか。

は♡は

ふー♡  
ふー♡

いいでしょう!!  
あなたが自分の  
本性を理性で  
抑えられるものなら  
やってみなさい!!

くちゅ  
くちゅ  
くちゅ

こちらからも  
せめさせて  
頂きますよ！

やめてえ♥  
下から私の気持ちい  
とこ突かないでえ♥

おっぱい  
おっぱい  
おっぱい  
おっぱい  
おっぱい  
おっぱい



そろそろ  
ころあいですね

やめろおおおー!!

その信徒よ!  
あなたの信じる  
シスターが墮ちる  
瞬間を見せて  
あげましょう!

のぢ のぢ のぢ のぢ  
のぢ のぢ のぢ のぢ  
のぢ のぢ のぢ のぢ





はあ♥はあ  
神官様あ♥

そ、そんな…  
シスター…



フハハハ!  
身も心も完全に  
落ちたようですね

神官様に  
この身を捧げ  
ますう♥

みんなのシスターだと  
思っていたものが  
憧れの人が目の前で犯され  
身も心も完全に奪われてしまった

一番見たくなかったものを  
見せられ僕はもう何も考える  
ことが出来なかった。  
ただ その姿から目を離すことが  
できずにいた……

その時完全に心が折れる音がした  
もうあの日々は帰ってこないのだと

僕はその場から動くことは出来なかった  
まるで壊れた機械のように……

壊れた機械になれたらどれだけよかったか  
僕の中には絶望とかすかな興奮が  
芽生え始めていた

きつと悪い夢なんだ


大好きなシスターが目の前で自分以外の男の  
イチモツを受け入れて乱れてる所を見て  
興奮するなんて何かの間違いだ

フハハハ!  
さあシスター!  
あなたは誰のもの  
ですか?

いい答えです  
では私のペニスに  
奉仕しなさい

神官様のものです♥

喜んで♥



シスターは邪教神官のイチモツに  
その豊富な胸でしゃぶりついた  
みたくないはずなのに  
その光景から目が離せない

あーっ

僕の前で憧れの人が  
けがされていく

なんと極上な胸  
なのでしよう  
たまりませんね

たっ  
たっ

たっ  
たっ



私の胸は神官様のおちんぽを気持ちよくするためにあるのです♡

くろー

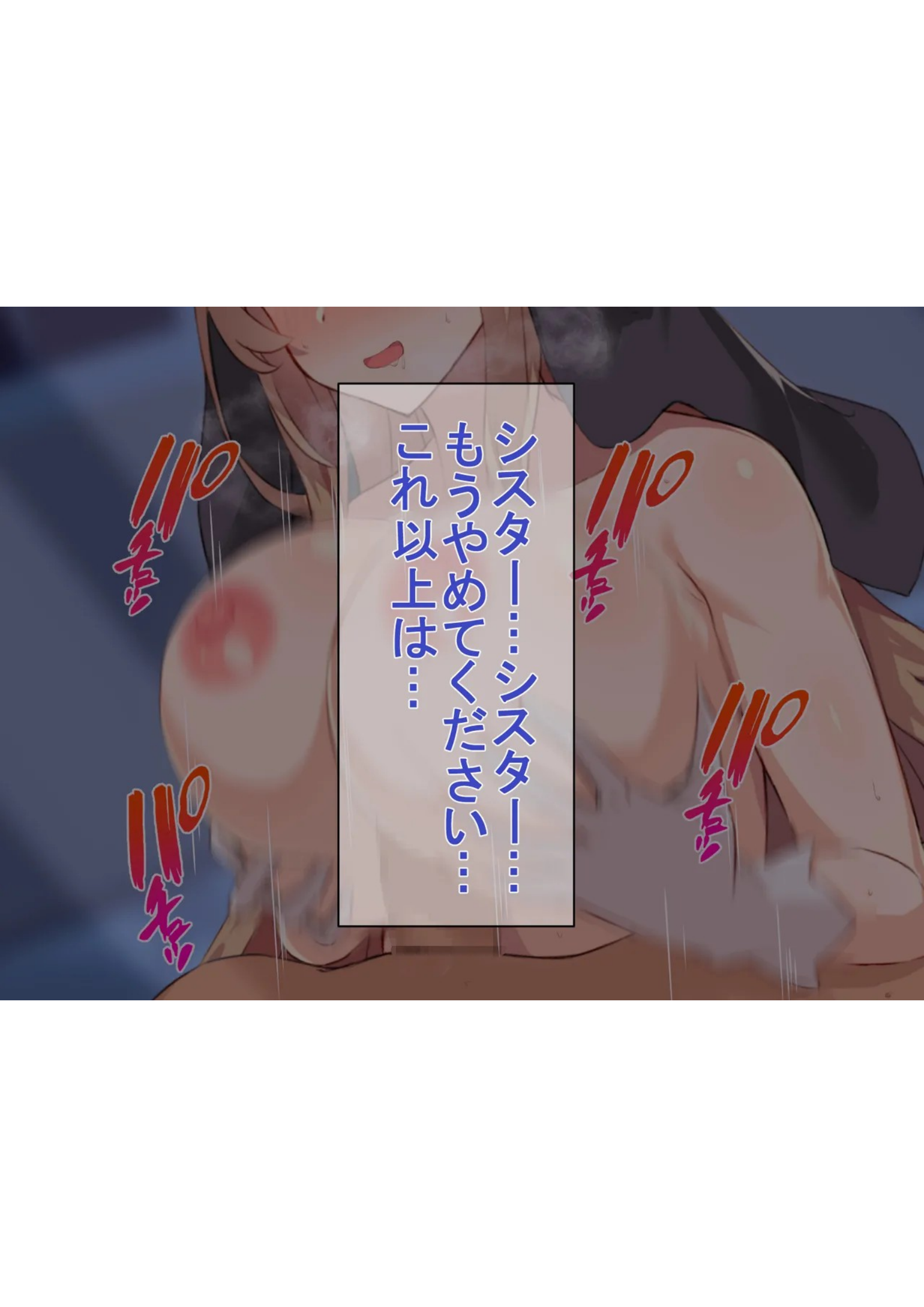
フハハハ！  
あのシスターが  
おちんぽと！  
普段から考えて  
いないと出てこない  
言葉ですよ！

たぶっ

たぶっ

いつも考えてましたあ♥  
男性のおちんぽをこうして  
私のいやらしい胸で扱いて  
差し上げたいなって♥

聖職者がそんな罪深いことを  
考えていたと！  
フハハハ！いいですよ！  
すべて開放してしまいなさい！



シスター！…シスター！…  
もうやめてください…  
これ以上は…

110  
110

110  
110

110  
110

110  
110



そろそろ出しますよ!!  
そのいやらしい顔と胸で  
受け止めなさい!!

んっんっんっ

ふっふっふっ

七波

七波

七波

七波





いっぱい出ましたね♥

下乳

神官様あ♡

はい♡

自ら私のものを求めてくるとは  
いいでしょう私のものを  
あなたの膣内に収めなさい

はあ♡

はあ♡







あつ♥あん♥  
きもちいい♥

最初あなたを  
見た時からはその  
いやらしい姿は  
想像もできません  
でしたよ！

男なんて1ミリも  
知らないはずの  
シスターが男の腰の上で  
いやらしいダンスを  
踊っている

みんなの……  
みんなの……  
みんなのシスターが  
奪われていく……

ほん  
ほん  
ほん  
ほん



んんんんん!

はは

んんん

ふん!

その信者さん  
この淫乱シスターは  
奥が弱いのですよ  
知っていましたか？

うづ……  
や……やめろ……  
やめてくれ……

やめろという割には  
あなたの股間は  
やめてほしくなさそう  
ですが？

隠さなくてもよい  
存分に見ていきなさい  
あなた方のシスターが  
堕ちるさまを！

っ……！？  
「これは……」

んんん  
んんん  
んんん  
んんん

こんななの……こんななの  
間違っている……

ごめんなさいっ  
羊さん♥  
でも私は

ほんほん



え……？

あなたがっ♡♡♡  
待つてたんですよ？♡♡♡

はっ はっ はっ はっ



う、うそだ……!!  
そんなの僕は信じない……!!

本当っ♥ですっ♥  
ずっとあなたのことを  
いやらしい目で見ていました♥

でもっ今はっ♥  
身も心も神官様の  
ものですっ♥

騎乗位のままシスターは  
神官の上に覆いかぶさると  
胸を押し付け嬉しそうに  
そういう。

♡  
♡  
♡

♡  
♡  
♡



すき♥すき♥  
神官様あ♥  
愛してますう♥

すっかり下品な  
メスになって  
しまいましたね

ふんふん

ふんふん



はむっっっ♥

はあっっ♥

わわわわ

アロっ

はっ♥

はっ♥

うんっっ

うんっ



んっ  
むぐっ  
なんと  
愛撫……  
激しい

ツ♡ん—っ♡ふ♡  
♡

んっ  
むぐっ

んっ  
むぐっ

んっ  
むぐっ

んっ  
むぐっ

シスターの先ほどの言葉が  
脳でリフレインしもしかしたら  
僕がシスターとそういう関係に  
なれたのかもしれないと考えたら  
頭がおかしくなりそうだった。

もし僕が告白していたら  
今頃……  
みんなの……みんなの……  
僕のシスターだったのに！





はあ……  
はあ……  
……  
脳を溶かすような  
激しいキスをして  
くるとは……

一瞬ですが  
意識を刈り  
取られる  
所でした

はあー  
はあー

はあ  
はあ

はあ  
はあ

はあ  
はあ

神官さまあ♥  
そろそろ私の  
おまんこに  
神官様の子種汁を  
ください♥

いいでしょう  
その身に私の  
愛を注いで  
上げましょう

ミルク

アッ

それにしても  
自分から私の精を  
求めるとは  
完全に堕ちましたね

はい♥  
私もう神官様  
のものです♥

フハハハ!  
仕上げに私の精液で  
その聖なる子宮を  
穢して穢して穢しきって  
上げましょう!

神官様の立派なおチンポください♥

フハハハ！  
欲望が解放されて  
もう待ちきれない  
ようですね

私のいやらしい子宮に  
神官様の穢れた精液  
沢山びゅーびゅーして  
ください♥

焦らなくとも沢山  
出してあげますよ  
そのいやらしく  
よだれを垂らして媚びる  
蜜壺にね！



挿入しますよ!

きて♡

キッ

ッ

キッ

ッ



くっ。……!!  
さらに締め付けが  
強くなつてっ!!

思わず腰が持って  
いかれそうになり  
ましたよ

ぬいっ、いっ、いっ、いっ、いっ



そのだらしなく  
緩み切った顔で  
よくシスターなどと  
名乗れましたね！



ん♥あん♥私っ♥  
もうっシスターではっ  
ありません♥



フハハハ！そうでしたね！  
今や身も心も邪悪に染まり  
切った 邪教のシスター  
いいえ！サキユバスと言っても  
過言ではないでしょう！

はい♡今はっ神官様のっ  
ものですっ♡

だだ  
だして  
だして  
❤️❤�

くっ……!!  
そろそろ  
だしますよ!

神官様のおちんぽ  
ミルクで私の子宮を  
いっぱいにして  
くださあーい❤�

そのド淫乱子宮で  
私の精液を受け  
止めなさい!!



オオボー！

イクっ！

びゅん...  
びゅん...

びゅん  
びゅん



はあー……  
はあー……  
気持ち良すぎて  
腰ごと持っていていかれ  
ましたよ……

神官様の熱い  
精液が私の子宮を  
満たしてる……っ♡

はあー♡  
はあー♡

どろどろ♡  
どろどろ♡  
どろどろ♡

神官様あ♡  
永遠の忠誠を  
誓います♡

フハハハ!  
これからは邪教の  
使徒としての活躍を  
期待していますよ

そんな  
シスター……  
シスター……

ド  
ロ  
ロ

そうしてこの町から  
シスターの姿は消えた





























































































喜んで





















































